未来も茨木

# 「次なる茨木」への まちづくり

惜しまれながらも平成27年（2015年）12月に閉館した市民会館の跡地エリアは、市民が参画しワークショップや社会実験などを通して活用方法を検討しながら整備を進めています。また、安威川ダム周辺の魅力的な場づくりも計画されており、「次なる茨木」に向けたまちづくりが進んでいます。

## これまでとこれから

- 平成27年　市民会館閉館

- 平成28年　市民会館100人会議
- 平成29年　基本構想策定
- 平成30年　社会実験IBALAB
- 令和元年　社会実験IBALAB PLUS
- 令和２年　設計施工業者が決定
- IBALAB@広場オープン
- 令和３年　第1期整備エリア工事着工
- 令和５年　新施設オープン
- 令和６年　IBALAB@広場クローズ（予定）
- 第2期整備エリア工事着工
- 令和８年　市民会館跡地エリア全面オープン

## 市民会館跡地エリア 新施設・広場の整備

市民会館跡地エリアの活用は、「育てる広場」をキーコンセプトに、ワークショップや社会実験を重ね、市民が参画しながら一緒に検討を進めています。

みんなでルールを考える

## IBALAB@広場

第2期整備エリアでは、社会実験や活動を試す「IBALAB@広場」がオープンしています。ここは、利用者と一緒にルールを考え、「できる」を増やし、みんなの「やりたい」が実現する場。そんな風にはじめから完成型とせず“つくる”と“つかう”を繰り返していくハーフメイドな広場です。

令和5年秋完成予定

## 新施設

新施設は、ホールや図書館、子育て支援、プラネタリウム、市民活動センターなど、さまざまな機能を備えた複合施設で、北側の芝生広場のほか、施設内にもたくさんの植栽を配置するなど、豊かな緑が特徴です。
図書館と子育て支援のコラボなど複合施設ならではの取組みを行い、常に色々な発見や出会いがある、誰もが過ごしやすく、訪れたくなる「立体的な公園」のような場づくりをめざしています。

画像は全てイメージ

## 安威川ダム

令和4年（2022年）春にダム堤体が完成する安威川ダムは、100年に一度の大雨（時間雨量80㎜、日雨量247㎜）から市街地を守ります。

型式：中央コア型ロックフィルダム
堤高：76.5m
堤頂長：337.5m
総貯水容量：1,800万㎥

イメージ

### 10種類を超えるダムカレー

安威川ダムのPRの一環として、安威川ダムに見立てた「安威川ダムカレー」を茨木市観光協会と一緒に開発しました。
平成27年（2015年）の第１号を皮切りに、令和４年（2022年）１月現在、11種類の安威川ダムカレーが、市内飲食店で販売されています。安威川ダムカレーを注文すると、安威川ダムカレーカードがもれなく付いてきます。

## 安威川ダム周辺整備

令和6年（2024年）春（予定）に安威川ダム周辺が、茨木市北部地域「いばきた」と「まち」をつなぐ拠点になります。ダム湖畔では、長さ日本一のつり橋をはじめ、特産品の販売やマルシェなどのイベント、バンジージャンプ、ウォーターアクティビティなどのレジャーが楽しめる、魅力的な公園の整備が計画されています。

「長さ日本一!?」
歩行者専用つり橋

「大阪で唯一!?」
バンジージャンプ

画像は全てイメージ

### スケジュール

| | | |
|---|---|---|
| 基本設計 | 令和3年 | ● 安威川ダム公園づくりワークショップ |
| 実施設計<br>工事 | 令和４年 | ● 安威川ダム公園づくりワークショップ・社会実験<br>● 地域活性化を担う組織づくり |
| 供用開始 | 令和６年 | ● 北部地域エリアマネジメント活動開始 |

未来も茨木

# 広がる交流 姉妹・友好都市

茨木市は、国内外のまちときずなを結び、交流を育んでいます。姉妹都市・ミネアポリス市とは文化、スポーツを通じた市民レベルの交流を行い、友好都市・安慶市とは友好代表団の相互訪問などを展開しています。
国内では小豆島町（旧内海町）と姉妹都市提携を、竹田市と歴史文化姉妹都市を提携しており、教育・文化・産業などの分野で互いの発展を目指し交流を深めています。

岡城跡

## America

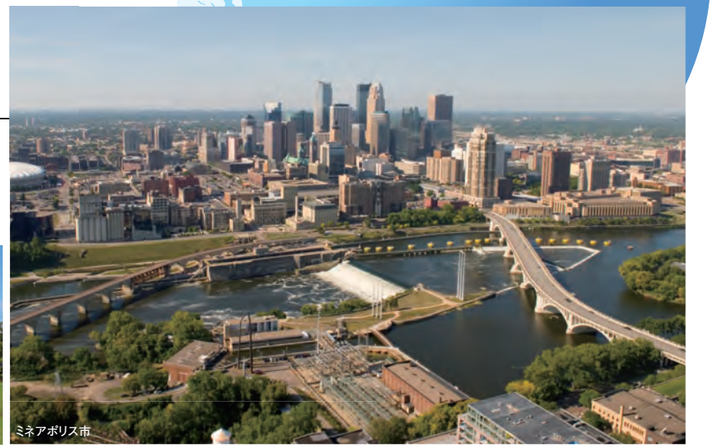
姉妹都市

### ミネアポリス市（アメリカ合衆国）

アメリカ合衆国ミネソタ州南東部に位置し、豊かな緑と多くの湖に包まれ「湖の街」と言われています。文化芸術施設も多く、全米でも安全で住みやすいまちの一つです。

**提携年月日** 昭和55年（1980年）10月22日

ミネアポリス彫刻庭園


ミネアポリス市

## China

安慶市

友好都市

### 安慶市（あんけい）（中国）

長江中下流域の重要な港町であり、安徽省を代表する風光明媚な観光地です。中国文壇に影響を与えた桐城派の故郷で、中国京劇と黄梅劇の発祥地です。

**締結年月日** 昭和60年（1985年）10月5日

歴史文化姉妹都市

### 竹田市（大分県）

文禄３年（1594年）岡藩（現在の竹田市）藩主となった中川秀成が茨木城主中川清秀の次男であったり、本市の名誉市民川端康成が竹田市を小説の舞台にしたりと、竹田市と茨木市は歴史、文化の面において深い関わりを持っています。

**提携年月日** 平成25年（2013年）11月16日

竹楽

寒霞渓

オリーブ公園

姉妹都市

### 小豆島町（香川県）

瀬戸内海の温暖な気候に恵まれた日本のオリーブ栽培発祥の地。オリーブ公園や日本三大渓谷美の一つである寒霞渓、海水浴場など観光名所が豊富にあります。

**提携年月日** 昭和63年（1988年）10月2日

※旧内海町との提携

# 茨木市のあゆみ

## 先史～近世

茨木市域に人々の活動のあとがうかがえるのは、今から1万年以上も前の旧石器時代。つづく縄文時代の後半や弥生時代には、多くの人々が生活し、その跡が残されています。なかでも東奈良遺跡から発見された銅鐸の鋳型は有名です。また、古墳時代の初めから終わり頃までの各時期の古墳が数多く残されています。
戦国時代には本市繁栄の基礎となる茨木城が築かれたと考えられています。
江戸時代になると参勤交代などで大名らが郡山宿本陣（椿の本陣）を宿泊に利用しました。今も、西国街道沿いに建つ本陣は、往時の面影を残しています。
明治4年（1871年）には、廃藩置県ののち、大阪府の管轄となり、その後の郡制の実施で、明治31年（1898年）、三島郡に属しました。同年10月、茨木村は茨木町となり、その中心地として栄えました。
昭和23年（1948年）1月、茨木町・春日村・三島村・玉櫛村の1町3村が合併し、茨木市は誕生しました。その後、8か村の合併、編入を経て、現在に至っています。

## 昭和

**昭和23年（1948年）**
1月1日　茨木町・春日村・三島村・玉櫛村の1町3村が合併し、市制を施行
8月　市歌を制定
10月　茨木市消防本部・消防署設置

**昭和25年（1950年）**
1月　元市庁舎開庁式［▶写真①］

**昭和27年（1952年）**
2月　茨木市立図書館が府立ブックステーションとして発足
10月　市民病院開院（昭和39年6月廃止）

**昭和29年（1954年）**
2月　安威村・玉島村を合併

**昭和30年（1955年）**
4月　福井村・石河村・見山村・清溪村を合併

**昭和31年（1956年）**
11月　財政再建団体の指定を受ける
12月　箕面市の一部（旧豊川村の東部）を編入

**昭和32年（1957年）**
3月　三宅村を合併

**昭和38年（1963年）**
7月　名神高速道路が開通

**昭和39年（1964年）**
4月　人口10万人を超える

**昭和41年（1966年）**
5月　赤字財政全額解消（16年ぶり）
11月　市民憲章を制定

**昭和42年（1967年）**
11月　市の木カシと市の花バラが決まる

**昭和43年（1968年）**
6月　市旗制定
市庁舎第1期工事完成
8月　市民プール（現中条市民プール）オープン
12月　ノーベル文学賞作家川端康成氏に名誉市民第1号の称号を贈る［▶写真②］

**昭和44年（1969年）**
6月　人口15万人を超える
市民会館（ユーアイホール）完成

**昭和45年（1970年）**
2月　国鉄（現JR）茨木新駅舎完成［▶写真③］
3月　阪急南茨木駅が完成
万博博覧会で国鉄（現JR）・阪急両駅が東の玄関口として利用される［▶写真④］

**昭和48年（1973年）**
11月　東奈良遺跡から銅鐸（どうたく）の鋳型発見（国の重要文化財に指定）

**昭和49年（1974年）**
5月　市庁舎（第2期工事）完成
10月　移動図書館ともしび号スタート

**昭和50年（1975年）**
4月　人口20万人を超える
7月　31万平方メートルの青少年野外活動センターオープン

**昭和52年（1977年）**
12月　保健医療センターオープン

**昭和53年（1978年）**
2月　市民体育館オープン

**昭和55年（1980年）**
8月　全国初の溶融式ごみ処理施設稼働
10月　アメリカ・ミネソタ州ミネアポリス市と姉妹都市を提携

**昭和56年（1981年）**
7月　第二市民プール（現五十鈴市民プール）オープン

**昭和58年（1983年）**
4月　第二市民プール（現五十鈴市民プール）に温水プールオープン

**昭和59年（1984年）**
3月　茨木市立文化財資料館オープン
12月　非核平和都市宣言

**昭和60年（1985年）**
3月　上中条青少年センターと茨木市立川端康成文学館完成
10月　中国・安徽省安慶市と友好都市を締結
12月　茨木市立斎場（告別式場棟）オープン

**昭和61年（1986年）**
6月　人口25万人を超える

**昭和62年（1987年）**
9月　茨木市立キリシタン遺物史料館オープン

**昭和63年（1988年）**
7月　忍頂寺スポーツ公園オープン
10月　香川県内海町（現小豆島町）と姉妹都市を提携
11月　ソウルオリンピック銀メダリストの長谷川智子さんに市民栄誉賞贈呈

## 平成

**平成元年（1989年）**
10月　市民総合センター（クリエイトセンター）オープン

**平成2年（1990年）**
4月　初の市民さくらまつり開催［▶写真⑤］
生涯学習センター開設
6月　大阪モノレール（南茨木～千里中央駅間）開業

**平成3年（1991年）**
5月　健康増進センターオープン
忍頂寺スポーツ公園内に宿泊施設「竜王山荘」オープン

**平成4年（1992年）**
4月　茨木市立中央図書館と富士正晴記念館オープン

**平成5年（1993年）**
7月　西河原市民プールオープン

**平成6年（1994年）**
4月　若園公園バラ園オープン
10月　福井市民体育館オープン

**平成7年（1995年）**
1月　阪神・淡路大震災発生
3月　人権擁護都市宣言

**平成8年（1996年）**
3月　障害福祉センターハートフル完成

**平成9年（1997年）**
6月　市庁舎南館完成

**平成10年（1998年）**
7月　目垣遺跡から弥生時代中期の人面付土器が出土
10月　大阪モノレール彩都線（万博記念公園駅～阪大病院前駅間）開業
11月　生涯学習都市宣言

**平成11年（1999年）**
4月　東奈良遺跡から最古級の小銅鐸が出土

## 2000年代

**平成12年（2000年）**
4月　茨木市立男女共生センターローズWAMオープン

**平成13年（2001年）**
4月　特例市となる

**平成15年（2003年）**
2月　東市民体育館オープン

**平成16年（2004年）**
4月　彩都（国際文化公園都市）まちびらき記念式典開催
12月　茨木市立生涯学習センターきらめきオープン

**平成17年（2005年）**
4月　観光協会設立
8月　子育て支援総合センターオープン

**平成18年（2006年）**
10月　市民活動センターオープン

**平成19年（2007年）**
3月　大阪モノレール彩都線（阪大病院前駅～彩都西駅間）開業

**平成20年（2008年）**
11月　北京オリンピック金メダリストの石井慧さんに市民栄誉賞贈呈

**平成22年（2010年）**
4月　南市民体育館オープン

**平成23年（2011年）**
11月　「女性化学賞」を受賞した相馬芳枝さんに市民栄誉賞贈呈

**平成24年（2012年）**
9月　バス歌手の岸本力さん、プロゴルファーの故杉原輝雄さんに市民栄誉賞贈呈
大分県竹田市と「歴史文化交流パートナーシップ宣言」を宣言

**平成25年（2013年）**
6月　市役所内にパスポートセンターを開設
9月　プロゴルファーの井戸木鴻樹さんに市民栄誉賞贈呈
11月　大分県竹田市と歴史文化姉妹都市を提携

**平成27年（2015年）**
4月　立命館いばらきフューチャープラザオープン
岩倉公園オープン
12月　市民会館を閉館

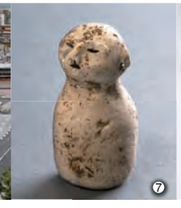
**平成28年（2016年）**
10月　キラリいばらき大賞を創設
リオデジャネイロオリンピックに出場したシンクロナイズドスイミング銅メダリストの吉田胡桃さん、中牧佳南さん、リオデジャネイロパラリンピックに出場した陸上選手の芦田創さん、和田伸也さん、野球の国際大会U18アジア選手権に出場した寺島成輝さんに同賞を贈呈
11月　リオデジャネイロオリンピックレスリング銀メダリストの樋口黎さんに市民栄誉賞贈呈
JR茨木駅東口広場の愛称がいばらきスカイパレットに［▶写真⑥］

**平成29年（2017年）**
1月　郡・倍賀遺跡から弥生時代中期の人形土製品が出土［▶写真⑦］
2月　市のブランドメッセージ（ロゴ）が「次なる茨木へ。」に決定
8月　中河原遺跡から複数の高床建物が描かれた弥生時代中期の土器が出土［▶写真⑧］
12月　新名神高速道路「茨木千提寺インターチェンジ」が供用開始

**平成30年（2018年）**
3月　JR総持寺駅が開業［▶写真⑨］
6月　大阪北部地震が発生

**平成31年（2019年）**
3月　第18回アジア競技大会・トライアスロンで優勝した古谷純平さんにキラリいばらき大賞を贈呈

## 令和

**令和元年（2019年）**
5月　総持寺が日本遺産に
9月　オール茨木ロケ映画「葬式の名人」が全国公開

**令和3年（2021年）**
4月　東保健福祉センターオープン
9月　東京パラリンピック2020銀・銅メダリストの和田伸也さんに市民栄誉賞贈呈